

ファミリーユ高知 3つの活動理念

- 1 社会福祉法人ファミリーユ高知は
ノーマライゼーションの理念に基づき、
「自立生活」を支援する施設として
利用者の意向と人権を最大限尊重します。
- 2 利用者が社会を構成する一員として、
社会復帰・社会参加できるよう、
他機関との連携をとりながら必要な支援をしていきます。
- 3 地域に開放し、地域住民との交流を行いつつ、
地域に必要とされるような社会福祉事業を展開します。

ごあいさつ

～劇的に生まれ変わった社会福祉法人ファミリーユ高知～

2008年4月「高知ハビリテリングセンター」(以下、ハビリ)が開設されて10年後の2018年は、ハビリにとって激動の一年間でした。9月には西岡由江をハビリセンター長に任命し、新生ハビリとして再スタートを切っています。

新生ハビリ1年目の2019年には、理事会、評議員会を一新し、まったく新しい運営、管理体制にすると共に、事業の全面的な見直しを行い、部長職の任命をはじめ中間管理職の起用、スタッフ、特に専門スタッフの採用や研修を積極的にすすめています。2021年からは法人全体で「成果発表会」を開催し、日々の支援を可視化し共有する取組を行い、サービスの質の向上を図っています。2022年には今まで以上に質的・量的なサービスが充実し、その結果として障害者の一般就労、社会復帰が増えアウトカムが出ることで、多くの病院や特別支援学校からの紹介が増え、大きく飛躍する手応えを感じています。

この6年間の西岡センター長はじめ多くのスタッフの血のにじむような努力で、ハビリの理念に基づいた地域移行、就労支援をサポートする通過型施設として高知県からも高く評価していただいております。

2018年5月には障害者福祉サービスセンターウェーブが「しごと・生活サポートセンターウェーブ」(以下、ウェーブ)となり、北本町にすばらしい新事業所を立ち上げ、新生ウェーブとして再スタートを切っています。9月には沼慶子をセンター長に任命し事業の全面的な見直しを行い、ウェーブ本来の役割である仕事を通じて障害者らしい生活をサポートするセンターとして生まれ変わりました。2020年からの新型コロナウイルス感染症の流行にも負けず、年々利用者も増え元気いっぱい頑張っています。

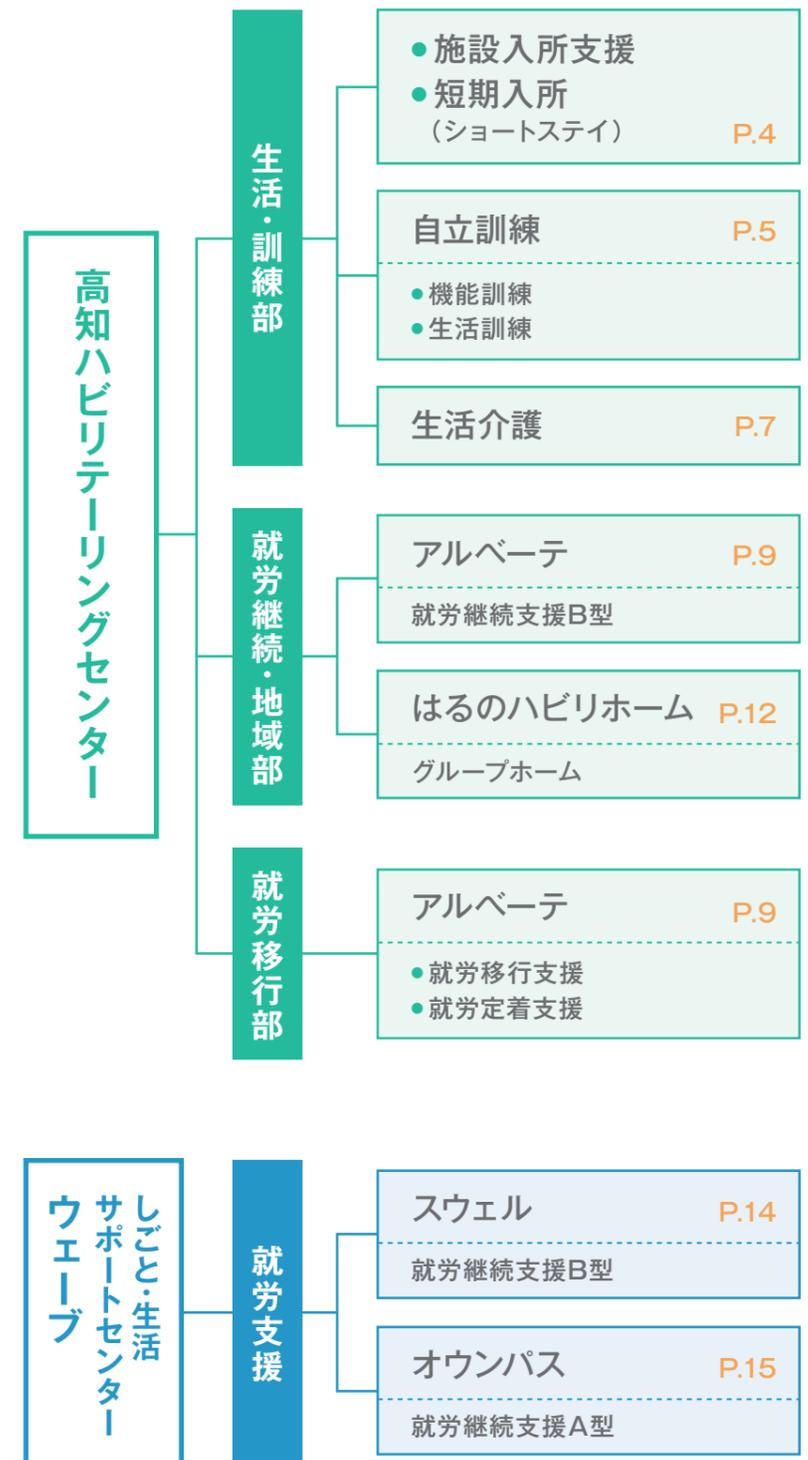
各事業所が障害者の自律という大きな目的に向かって、利用者の皆様が笑顔にあふれ、スタッフみんながいきいきと働けるハビリ、ウェーブにしたいと心から願っています。これからも温かいご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



社会福祉法人 ファミリーユ高知 理事長

近森 正幸

ファミリーユ高知 事業体制



活動理念

1. 高知ハビリテーリングセンターは、障害があっても自分らしい生活を送ることができるよう、適切な支援提供する使命があると考えています。
2. 高知ハビリテーリングセンターは、利用者を主体として自律に向けたトレーニングが、快適に受けられる場所でないといけないと考えています。
3. 高知ハビリテーリングセンターは、すべてのスタッフが支援者として常に先駆的な精神で臨み、誇りと責任をもって明るく働ける職場でないといけないと考えています。

平成20年4月1日、社会福祉法人ファミリー高知は、高知県より運営移管された身体障害者リハビリテーションセンターを『高知ハビリテーリングセンター』と改称し開設しました。

そして、老朽化した建物を新築にした平成22年4月1日からは、自立支援法の新体系に移行し、身体・知的・精神障害者を受け入れる事業所となり、昭和54年に開始した県内唯一の更生施設は、「機能訓練」と「施設入所」事業で引き継ぎ、昭和55年から開始した授産施設は、福祉的就労の場としての「就労継続支援事業B型」、生活の場としては「共同生活援助(グループホーム)」事業を開所しました。更に、県から担った事業だけではなく、必要であると判断した事業については随時開所し、現在、高知県内では他にない障害児から障害者を受け入れるべく多機能型事業所となっています。

高知ハビリテーリングセンターは、北欧スウェーデンのハビリテーリングセンターの理念と同様に、「すべてのことに意味がある」支援

やサービスを提供させていただきます。何より、ご利用者やご家族が障害や障壁に屈することなく、今後の人生をあきらめず、自分で決定し、責任を持って生きる自律心を応援していきたいと考えています。

一人ひとりを大事にして、一人ひとりが元気になることで、ハビリが元になり、ハビリが元気になることで地域社会が元気になる、そんな活気のあるセンターとして日々精進していく所存です。

高知ハビリテーリングセンター
センター長

西岡 由江



施設入所支援

定員：40名

自立訓練などの日中事業を利用される方で、在宅生活が困難な場合に入所することができる生活の場です。体調管理の助言や日常生活を送る上で必要な入浴、掃除、洗濯などの自立をサポートします。

全室個室



入浴

スタッフ付き添いで練習し、自立になれば小浴を利用。

トイレ

お一人おひとりのハンディキャップに合わせた環境を完備。



1日のスケジュール

6:30	起床
7:50	朝食
8:45	体調チェック、ラジオ体操、朝礼
9:30	訓練プログラム
11:30	昼食・昼休み
13:00	訓練プログラム(入浴訓練あり)
17:50	夕食
22:00	消灯・就寝

自己管理を目指します



洗濯

洗濯機の使い方から干すまでの一連動作の自立を目指します。

短期入所(ショートステイ)

定員：2名+空床利用

施設入所と同様のサービスを提供する短期間の入所サービスです。介護者が病気や用事などで介護ができない場合や、レスパイト(介護の休息)として定期的な利用もできます。



自立訓練

機能訓練

定員:20名 利用期間:最長1.5年

身体障害や高次脳機能障害がある方に対し、社会生活能力の獲得・向上に向けてリハビリテーションを実施します。ご利用者本人と支援者が話し合い、それぞれのご利用者の目標に合わせたプログラムを提供し、在宅復帰等の地域生活や就労等の社会参加活動等に繋がります。集団訓練・個別訓練・ピアとの関わりの中で、主体的・自主的な取り組みを通して、自身の体調管理や時間管理などその方に必要な生活力の獲得に向けて支援を行います。



● 移動 安全で実用的な移動の獲得に向け、移動補助具等の検討や練習を行います。



● 高次脳機能訓練 グループ訓練や様々なツールを利用し、日常生活や社会生活に必要な対応力や代償方法の獲得を図ります。



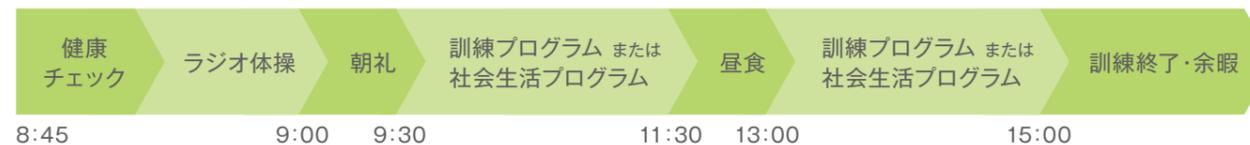
● 生活活動 日常生活動作・家事など、行い方の工夫や環境調整などにより、「できる」力を生かした活動の獲得を図ります。



● 就労支援 復職・一般就労・福祉就労など、その人らしい社会参加に向けて支援します。

訓練の1日

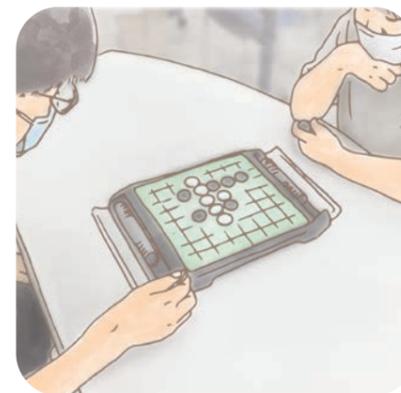
※機能訓練・生活訓練 共通



生活訓練

定員:6名 利用期間:最長2年

知的・精神・高次脳機能障害がある方に対して、一定期間において入浴などの日常生活動作や家事・掃除など日常生活関連動作の改善といった、その方の生活に根ざした社会的自立への準備となるプログラムを中心にを行います。また、特別支援学校を卒業された方に対する専攻科としての機能も果たします。



● コミュニケーションプログラム 楽しみながら他者と自己理解を学び、自己表出の促進や社会生活技能を学ぶことができます。



● 居室掃除 生活の基本となる身だしなみや掃除の自立を獲得し、実際の生活場面でできるように支援します。



● 公共交通利用支援 対象者のニーズ(受診、外出等)に寄り添い、行動計画から一緒に考え、外出の自立をサポートします。

できる体験を通して、暮らす力を支えます。

STEP 1 日常生活能力の評価と獲得

- 生活の評価と再獲得
- 健康管理
- 屋内歩行から屋外歩行
- 装具の検討と修正
- 交流・楽しみ など

初期

STEP 2 社会生活力の向上

- グループ活動 頭ならし 人ならし ところならし 体ならし
- さまざまな管理能力の向上
- 進路決定
- 住環境検討(家屋訪問) など

中期

STEP 3 地域での生活づくりの準備

- 心身機能の維持
- 次のステージへのチャレンジ型試行
- 地域での生活スタイル確定 住むところ はたらくところ 居場所
- サービス調整・ケア会議 など

後期

STEP 4 それぞれの目標・地域生活の場

- 一般就労
- 復学
- 家庭内安定
- 就労支援事業所

家族支援や心のケア

※利用時期に合わせた段階的プログラムを提供することで、スムーズな地域移行をすすめる。(各期の時期は支援の進行状況などによって変わります。)

生活介護

定員：14名

日常的に介護を必要とする方に対して、必要な日常生活上の支援、創作的活動の機会の提供のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を行います。楽しみながら活動ができるように、個別プログラムを提供させていただいたり、買い物や食事に行ったり、地域のイベントに参加するなどしています。



● 体力作り(散歩)

四季を感じながらハビリの周囲を散歩します。



● 創作活動 さまざま創造的なものを生み出す活動で、その人らしさを発見します。



● 脳力トレーニング

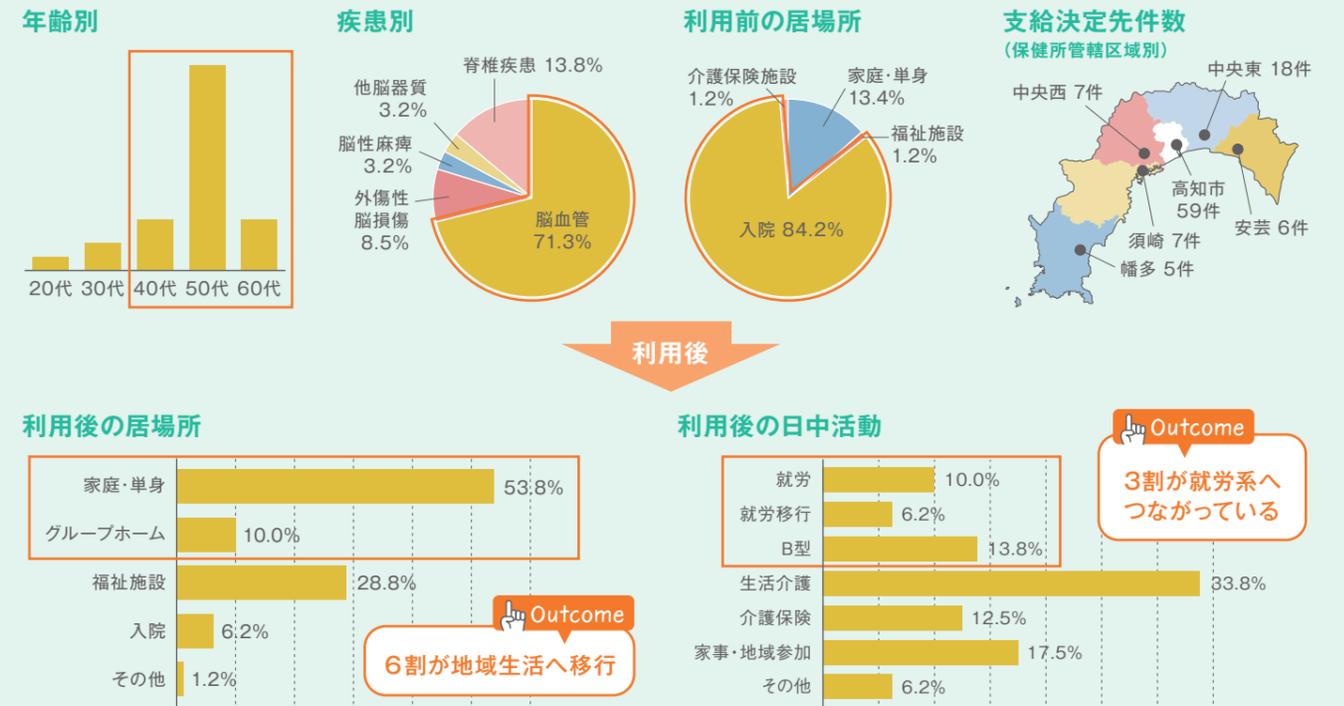
認知機能を改善し、記憶力や集中力などを鍛えるトレーニングを提供しています。

支援の結果

自立訓練<機能訓練>

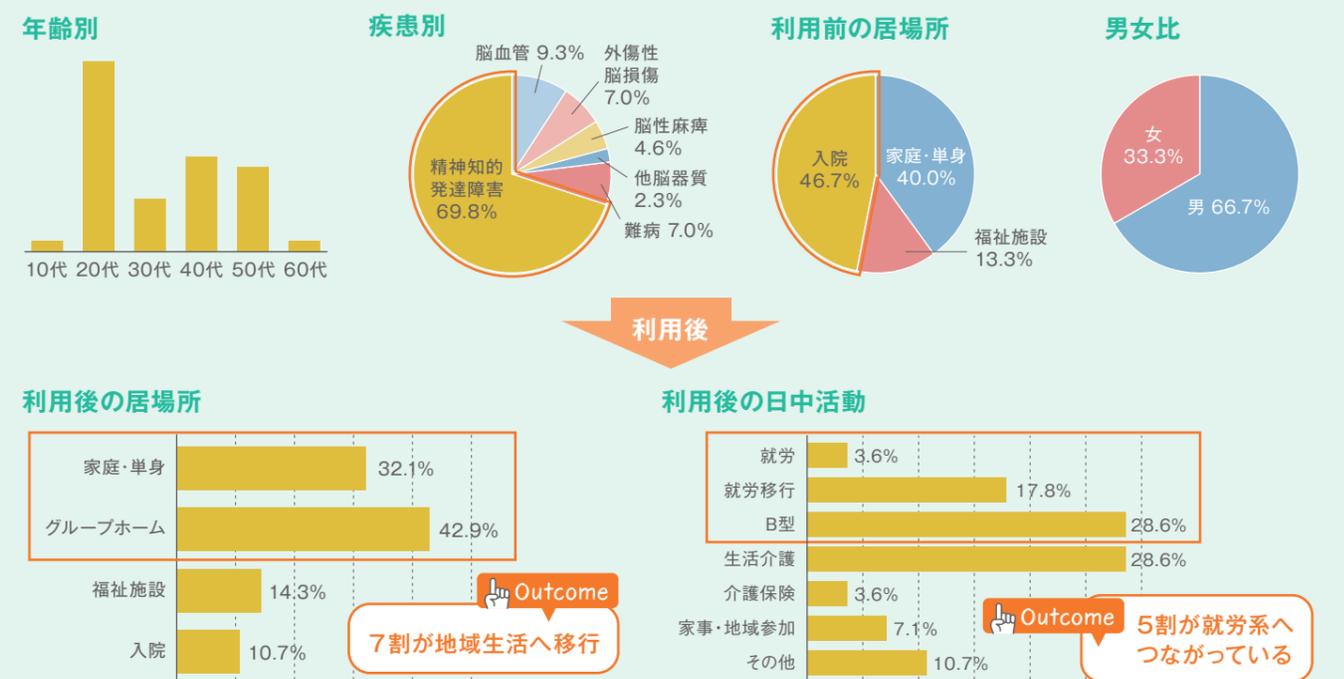
- 働き盛りの脳血管疾患患者が多い(介護保険の第2号被保険者に該当)
- 回復期リハビリテーション病院を経て、在宅生活に向けた社会生活リハビリテーションを提供
- 高知県下唯一の訓練事業(高知県内各市町村からの支給決定)

※2019~2023年度新規利用者データ



自立訓練<生活訓練>

- 特別支援学校卒業後の専攻科利用の10~20代
- 社会的入院患者の地域移行に向けた支援
- 施設入所(住まいの場)との併用にて、よりリアルティのある訓練を提供



アルベータ

アルベータでは、一人ひとりの可能性を広げ、多様な働き方を選択するための就労支援を行います。

就労継続支援B型

定員: 40名

18歳から65歳までの一般就労等が困難な障害者に就労の機会を提供し、生産活動の場を通して知識や能力の向上のための支援、各々の障害特性にあわせて作業工程の工夫や改善を行うなど、福祉的就労における必要なサービスを提供します。

【仕事内容】

軽作業科

メモ帳の加工や検品と袋入れ作業、ティッシュの検品や袋入れ作業、様々な種類の箱折り作業等を行っています。また、農作物等を業者から預かり、計量や選別を行って袋詰め、箱詰め作業を行います。また作物等の緩衝材(木毛)も計量、詰め作業を行います。

クリーニング科

病院や当センターの職員ユニホーム、当センターの利用者シーツ、私物の洗濯物を預かり、仕分け、検品、洗濯、納品等のクリーニング作業全般を行っています。

印刷科

封筒や名刺、広報誌、ハガキ、伝票等の印刷を行っています。作業内容はフォトショップやイラストレーター等を使用した画像作成、入力、データ作業、校正作業や仕上げ作業の紙折りや検品等を行っています。

施設外就労

施設外の公園、施設の草むきやゴミ拾い、モップ掛け等の清掃業務を行います。

1日のスケジュール

- 10:00 朝礼
生産活動
- 12:00 昼食
- 13:00 生産活動
- 15:00 作業終了



● クリーニング

汚れた洗濯物を、専用の大型洗濯機や乾燥機を使い、綺麗に仕上げお客様へお返しします。シーツ交換・洗濯・乾燥・仕上げ等いろいろな工程があります。



● お菓子の箱折り作業

決められた台紙を折り込んで、基本の箱を作ります。単純な作業ですが、同じ工程を繰り返しますので根気が必要です。

● 清掃作業

指定された公園や施設に直接お伺いして、支援員と一緒に清掃作業を行います。現地ではルールを守って、2~3人ぐらいの団体行動をとります。



就労移行支援

定員: 6名 利用期間: 最長2年

働きづらさ(労働や対人関係、環境調整など)があり、就職に向けての支援が必要な方に対してスキルアップにつながる訓練(個別&集団)を提供します。また、個人の特性を評価した上で企業や公的機関とも連携し、働き続けられる環境とのマッチングを行います。

訓練内容

- 社会スキル
- ビジネススキル
- 専門スキル
- 就活スキル



1日のスケジュール

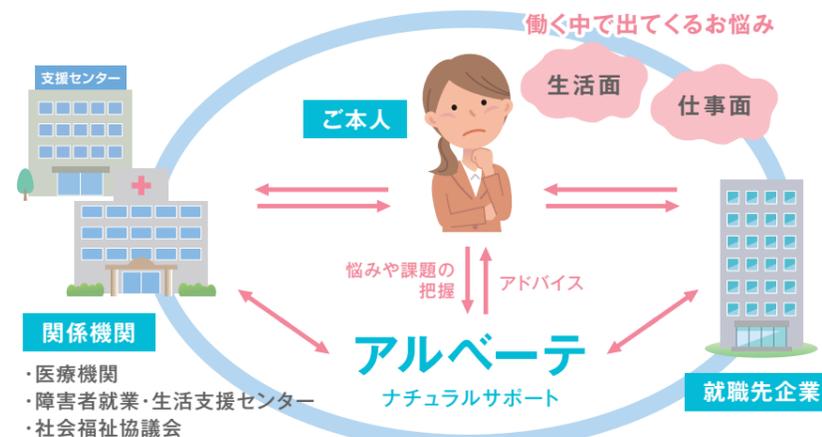
- 10:00 ミーティング
プログラム①
プログラム②
- 12:00 昼休憩
- 13:00 プログラム③
プログラム④
- 15:00 終了



就労定着支援

利用期間: 最長3年

就労移行支援等の利用を経て、通常の事業所に新たに雇用され、6月を経過した者に対して、就労の継続を図るために、就職先企業を含めた関係機関と連携し、社会生活を営む上での各般の問題に関する相談、助言など必要な支援を行います。



就職から職場定着までを一貫してサポートします!

STEP 1 働くための基盤づくり

トレーニングに通うことで、基礎体力や働くための準備性を身につけます。パソコンや事務作業、軽作業等の訓練や座学やグループワーク(レクリエーション)等による共同作業を通して、職場で必要となるスキル全般の習得を図ります。

- 習得目標
- 強み・課題の把握
 - 社会性の獲得
 - 生活リズムの定着
 - 耐久性の確認

STEP 2 職場実習

職場体験を通して、就労に向けての強み、課題等を実践的に確認していきます。様々な業務を体験することで、適職の見極めにつなげていきます。

- 支援内容
- 適職の見極め
 - 実践訓練

STEP 3 マッチング

職場実習で適職の見極めを行った上で、長期的に業務を体験していくことでマッチングを図っていきます。

- 制度利用
- 委託訓練(2ヶ月)
 - トライアル雇用(1~6ヶ月)

就職

STEP 4 アフターフォロー(6ヶ月)

就職後も長く働き続けられるように企業や関係機関と連携してサポートします。利用者、企業両者のサポートを行います。

- 実施内容
- 職場訪問・面接
 - OB会

STEP 5 就労定着支援(3年)

就職後も長く働き続けられるように企業や関係機関と連携してサポートします。利用者、企業両者のサポートを行います。

- 実施内容
- 職場訪問・面接
 - OB会

支援の結果

アルベータ 就労継続支援B型

※2024年3月末時点データ



利用後

アルベータの平均工賃額

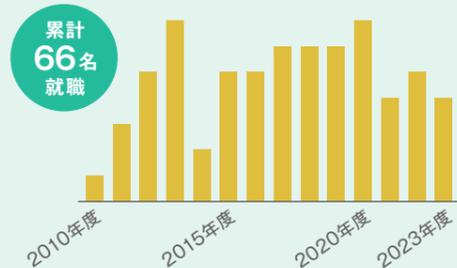


アルベータ 就労移行

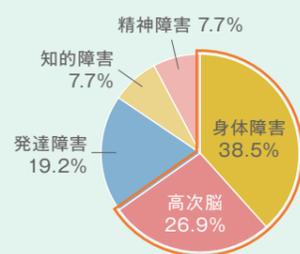
※就職実績データ

- 自立訓練事業から引き継ぎ就労へのステップアップを実践
- 実体験(職場実習)を積極的に取り入れ得意分野を伸ばし苦手の工夫を提案
- 労働市場への働きかけとマッチング&フォローで働き続けるを支援

年度別就職者数 (2010~2023年度)



疾患別就職実績 (2019~2023年度)



職種別就職実績 (2019~2023年度)



利用後

定着率の推移 ※就職して半年の定着率です。



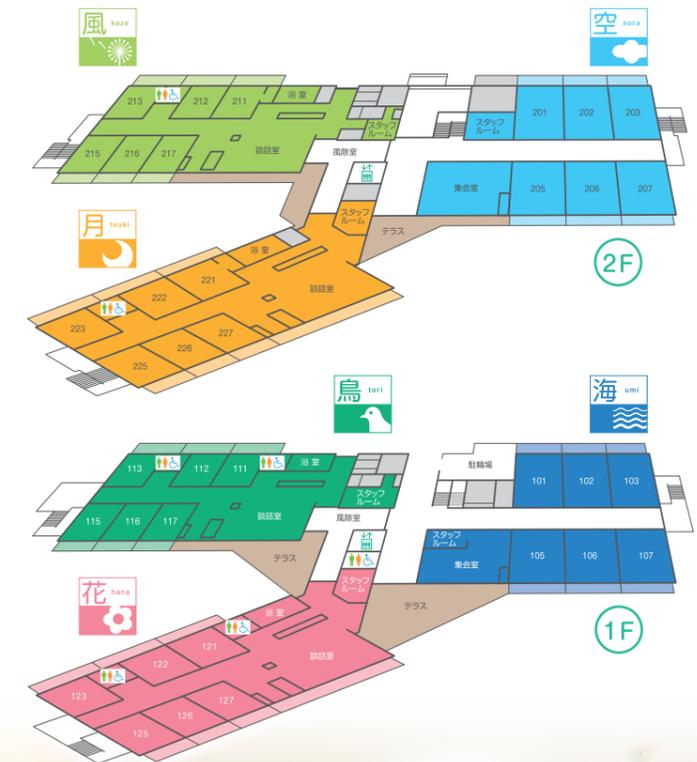
Outcome

本人の働きたい・働き続けたい気持ちを形に。働くを通して企業の理解も加速すると共に働き手の充足につながる。本人のやりがいと社会的役割の達成(納税等)

はるのハビリホーム

定員:36名

障害のある方が安心して生活を送ることができるよう、日常生活の援助を行います。ご利用される方の自律を支援するとともに、余暇活動の充実や社会活動への参加を促し、その人らしい生活の実現をお手伝いします。



はるのハビリホーム 7つの特徴

- 1 緑に囲まれた静かな環境
- 2 広々としたバリアフリー環境
- 3 マンションタイプ、ユニットタイプ(個室)がある
- 4 休憩室にフリーWi-Fi完備
- 5 月極の駐車場完備
- 6 とさでん交通バスのバス停(ハビリセンター)がある
- 7 障害者スポーツセンターが隣接



活動理念

ノーマライゼーションの基本理念のもと、
障害があっても何らかの社会資源を活用しながら
その人らしく地域で自立して生活を維持し、働けるように支援する。

1. 各々の多様性が尊重され、個人の尊厳が守られていること
2. 家族も含めて、社会保障や福祉サービスなどの必要な保障やサービスが受けられること
3. 生産的な仕事(働きたい仕事)ができ、働きがいや働く喜びが得られること
4. 一生懸命働いた対価として、正当な給料(工賃)がもらえること
5. 質の高い教育や訓練を受ける機会があり、キャリアアップが目指せること
6. 働くことを通じて社会参加できること

障がいのある人もない人も、お互いに支えあい、地域で生き活きと明るく暮らしていける「ノーマライゼーション」の理念に基づき、障がい者の自立と社会参加を目指して平成18年10月に障害者福祉サービスセンターウェーブとして開所しました。それから11年の実績を重ね、北本町に新館を建築することができました。名称も「しごと・生活サポートセンターウェーブ」に変更し、利用者一人ひとりの「働きたい」気持ちを大切に「働き続ける」ために必要な支援を利用者の特性に合わせてサポートする事業所として生まれ変わりました。高知駅まで徒歩3分という立地条件を活かして、誰もが通って来られる都市型・通過型事業所として事業を展開しています。事業内容は、一般就労が難しい障がい者の働く場として就労継続支援B型事業「スウェル(swell)」と、雇用契約を結び更なる就労ステップアップを目指す就労継続支援A型事業「OWNパス(own path)」、障がい者やその家族に必要なサービスの利用に向けたお手伝いをする特定相談支援事業を運営しています。

“ウェーブ”を訳すと波という言葉になります。人生において楽しい波もあり、起伏やうねりのある(社会から逃げたくなるような)浪に呑み込まれそうになる時があるかと思います。そんな波から逃げないで、体力と適応力を身につけ、希望を見出しうまく波を乗り越えてもらいたいという思いを込めています。もちろん一人ではなく私たち支援者も自由と柔軟性をもって、利用者が障害を乗り越えて自信と誇りをもった生き方ができる支援を心がけています。

“自分らしさ・その人らしさを応援しはしていきます”

しごと・生活サポートセンター
ウェーブ センター長

沼慶子



スウェル

利用者ひとりひとりの「働きたい」気持ちに寄り添い、
利用者ひとりひとりの様々な思いが達成できるよう取り組んでいます。



就労継続支援B型

定員:40名

18歳から65歳までの一般就労等が困難な障害者に就労の機会を提供し、生産活動の場を提供し、生産活動の場を通して知識や能力の向上のための支援、各々の障害特性にあわせて作業工程の工夫や改善を行うなど、福祉的就労における必要なサービスを提供します。

【仕事内容】 クリーニング

病院から出される洗濯物を取り扱っており、私物洗濯から病棟洗濯物まで様々な洗濯を行っています。納品や仕分け、チェック、たたみなどの工程を手作業で行います。

軽作業

自主製品の使い捨てエプロンの製品化、ダイレクトメールの封入作業、パンフレットのポストイン作業など様々な作業を行います。

施設外就労

病院周辺や川沿いの清掃作業、農家や農園、工場など直接その場所へ出向き、作業を行います。

施設内清掃

建物内の清掃を一日に2回行います。



● クリーニング



● 軽作業

1日のスケジュール

- 10:00 ラジオ体操
- 朝礼
- しごと
- 12:00 昼食
- 13:00 しごと
- 14:30 休憩
- 14:45 しごと
- 16:00 終礼



● 施設外就労



● 農福連携

OWNパス

自分たちで考え行動できるひとづくり、働き続けたいと思える職場づくり、挑戦したいと思える仕組みづくりに取り組んでいます。



就労継続支援A型

定員：10名

18歳から65歳までの一般就労等が困難な障害者に就労の機会を提供し、生産活動の場を提供し、生産活動の場を通して知識や能力の向上のために必要な訓練その他の必要な支援を行います。その際には雇用契約に基づき継続的な支援を行い、賃金は高知県の最低賃金を保障します。OWNパスでは利用者を「スタッフ」と呼び、あたたかな職場づくりに取り組んでいます。

【仕事内容】

クリーニング

病院から出される洗濯物を取り扱っており、看護師などのユニフォーム、私物洗濯まで様々な洗濯を行っています。納品や仕分け、チェック、たたみ、アイロン掛けなどの工程を手作業で行います。

施設外就労

農家や農園、工場など直接その場所へ出向き、作業を行います。

● クリーニング師資格取得

学ぶ時間を確保したり実際のクリーニング店へ出向きアイロンの講習を受けることができます。就職活動にも有利になります。

● マイスター資格でスキルアップ

OWNパス独自の資格制度を設けることで自信と品質アップにつながります。



● クリーニング



● 農福連携

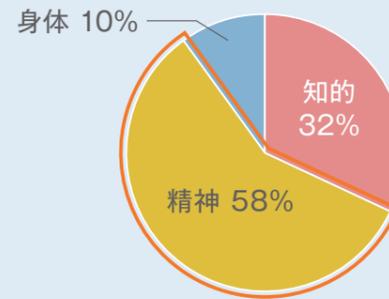
1日のスケジュール

9:00	ラジオ体操 朝礼 朝のミーティング 回収・納品 洗濯前チェック 洗濯・乾燥	12:00	昼食
		13:00	昼のミーティング 仕上げ 製品チェック・納品
		15:30	掃除
		16:00	終礼

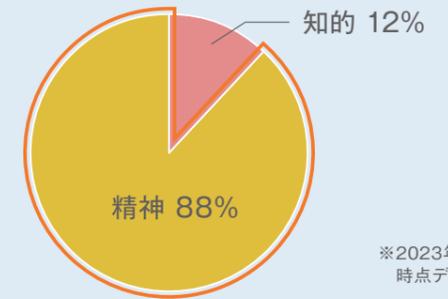
支援の結果

- 各病院や他機関との連携を大切にし、精神障害の方や発達障害の方などの支援を充実。
- クリーニングを含め、軽作業や清掃、外部での就労など、豊富な作業種で活躍の場を提供。
- 希望や能力に応じたステップアップ支援を実施し、一般就労やA型への架け橋となる。
- 毎年実施している満足度調査では、9割の方が満足していると回答。

B型 スウェル障害別



A型 OUNパス障害別

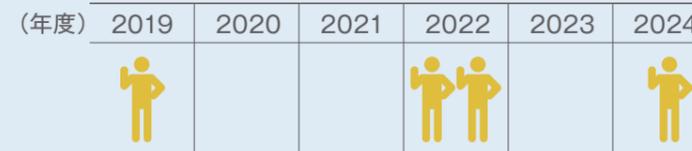


※2023年3月末時点データ

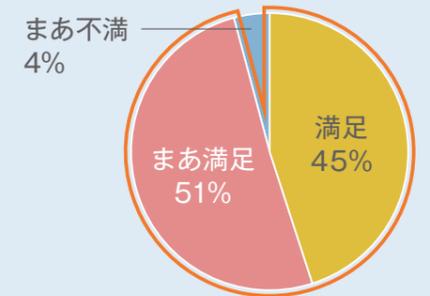
一般就労 移行者数



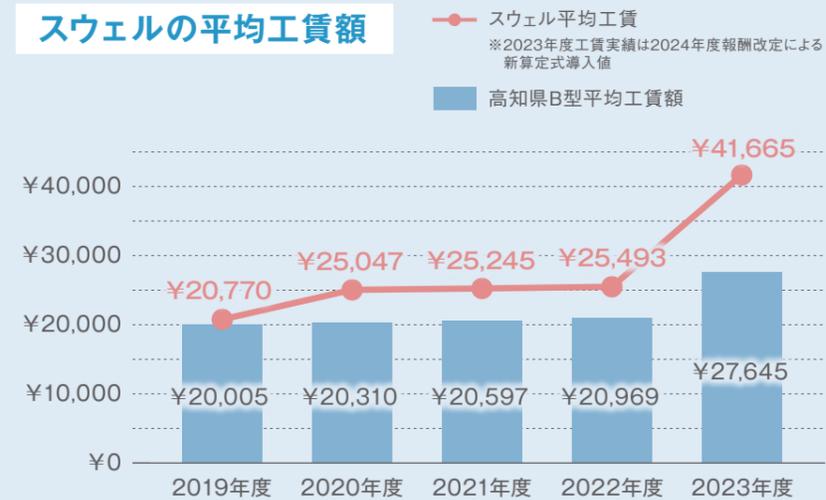
A型 移行者数



2023年度 ウェーブ満足度調査 総合評価



スウェルの平均工賃額



OWNパスの給与

- 給料月平均約10万円（高知県の最低賃金にあわせています。）
- クリーニング師やマイスター（OWNパス独自の認定資格）を取得すると、さらに賃金UP。

ファミリー高知 施設概要

高知ハビリテーリングセンター

〒781-0313 高知市春野町内ノ谷63番地6 TEL.088-842-1921

事業内容 自立訓練(機能訓練)／自立訓練(生活訓練)／施設入所／短期入所
生活介護／就労移行／就労定着／就労継続支援B型／共同生活援助

職員数 73名 ※2024年10月末現在



しごと・生活サポートセンター ウェーブ

〒780-0056 高知市北本町1丁目8-7 TEL.088-820-1221

事業内容 就労継続支援A型／就労継続支援B型

職員数 13名 ※2024年10月末現在

沿革

- 2004.10.25 社会福祉法人認可
- 2006.10.1 障害者福祉サービスセンターウェブが
就労継続支援B型へ移行
- 2008.4.1 高知ハビリテーリングセンターが
高知県より移管を受けて事業を開始
- 2010.4.1 高知市愛宕町に
グループホーム・ケアホーム「ホルト」開設
高知ハビリテーリングセンターが新体制へ移行
(施設入所支援・短期入所・機能訓練・生活
訓練・就労移行支援・就労継続支援B型・
グループホーム・ケアホーム)
- 2010.7.1 高知ハビリテーリングセンターが
生活介護事業を開始
- 2012.4.16 高知ハビリテーリングセンター就労支援事業
所の従たる事業所としてアルベータ北本町
開設
- 2013.4.1 高知ハビリテーリングセンターが
放課後等デイサービス事業所「キュール」開設
高知ハビリテーリングセンター、
障害者福祉サービスセンターウェブに
相談支援事業所を開設
- 2017.4.1 障害者福祉サービスセンターウェブが
就労継続支援A型事業を開始
- 2018.5.21 障害者福祉サービスセンターウェブを改め、
しごと・生活サポートセンターウェブへ
事業所名変更
- 2019.10.1 高知ハビリテーリングセンターが
就労定着支援事業を開始
- 2024.3.31 高知ハビリテーリングセンターが
放課後等デイサービス事業所「キュール」を廃止
相談支援事業所を廃止

近森会グループ施設



社会医療法人 近森会 近森病院 救命救急センター／総合心療センター

〒780-8522 高知市大川筋一丁目1-16 TEL.088-822-5231(代)

救命救急センター／地域医療支援病院／地域災害拠点病院／臨床研修指定病院(基幹型)

診療科

内科／循環器内科／消化器内科／脳神経内科／呼吸器
内科／感染症内科／糖尿病内科／代謝内科／内分泌内科／
血液内科／外科／形成外科／消化器外科／乳腺外科／
甲状腺外科／呼吸器外科／小児外科／救急科／総合内科／
整形外科／脳神経外科／心臓血管外科／泌尿器科／放射
線科／麻酔科／腎臓内科／人工透析内科／病理診断科／
皮膚科／リウマチ科／膠原病内科／心療内科／リハビリ
テーション科／精神科／ストレス外来／歯科

病床数

489床(一般 429床、精神 60床)

主な施設基準

急性期一般入院料1、特定集中治療室
管理料2、救命救急入院料1、ハイケア
ユニット入院医療管理料1、精神科急性期
治療棟入院料1

社会医療法人 近森会 近森リハビリテーション病院



〒780-0843 高知市廿代町2-22

TEL.088-822-5231(代)

診療科 リハビリテーション科／内科／脳神経内科

病床数 180床

主な施設基準

回復期リハビリテーション病棟入院料1・3、脳血管
疾患等リハビリテーション料(I)、運動器リハビリテ
ーション料(I)、呼吸器リハビリテーション料(I)、廃用
症候群リハビリテーション料(I)

社会医療法人 近森会 近森オルソリハビリテーション病院



〒780-0056 高知市北本町一丁目2-6

TEL.088-822-5231(代)

診療科

リハビリテーション科／整形外科／内科

病床数 100床

主な施設基準

地域包括ケア病棟入院料2、地域包括ケア入院
医療管理料2、急性期一般入院料6、運動器リハ
ビリテーション料(I)、脳血管疾患等リハビリテ
ーション料(I)

社会医療法人 近森会 近森病院附属看護学校



〒780-0052 高知市大川筋一丁目6-3

TEL.088-871-7582

学科 看護学科(3年課程)

学生数 学年定員／40名 収容定員／120名

卒業により取得できる資格

看護師国家試験受験資格、保健師学校受験資格、
助産師学校受験資格、大学編入学試験受験資格、
専門士(医療専門課程)の称号付与